

米・イスラエルはイラン攻撃をやめろ!

どんな形でも自衛艦派兵 ＝イラン戦争参戦をさせるな

高市首相は今回の訪米で自衛艦をタンカー護衛と機雷掃海に送ることはできませんでした。米とイスラエルの戦争に反対する国内の世論や平和憲法、法的根拠が許さなかったのです。しかし、高市首相もトランプ大統領もあきらめていません。高市首相は「法的に何が可能か考える」とあくまでもトランプのイラン戦争に協力するつもりです。トランプ大統領は今、陸上作戦の準備をしています。これの支援を日本に申し付けてくる可能性は大きいです。高市首相は「情報収集」「海上警備行動」等の名目で自衛艦派兵をしかねません。私たちはトランプの戦争への協力に断固反対です。自衛艦派兵も絶対許しません。



炎上するテヘラン郊外の石油基地

高市首相は、トランプ礼賛発言を撤回せよ

高市首相は日本にいる間は米のイラン戦争を国際法違反とは認めず、「判断しない」と言い続けました。ところが、訪米したとたん、トランプに抱き着き、「世界の平和をもたらせるのはドナルドだけ」と礼賛したのです。米とイスラエルがイランに対して一方的に仕掛けた戦争は明かに国際法違反の侵略戦争です。両国はイランから何の脅威も受けず、何の根拠もないのに一方的に大規模攻撃を開始し、イランの首脳部を暗殺し、これまでに3000人以上の市民を殺しました。この暴挙を高市首相は「平和をもたらす」と称賛し、トランプを称えたのです。平和憲法を持つ日本の首相が侵略国家を礼賛するのは許されません。高市首相は発言を撤回し、辞任すべきです。

ホルムズ海峡は封鎖されていない

政府やメディアはホルムズ海峡封鎖と大騒ぎを演じますが、実際には封鎖されていません。米が勝手に始めた戦争に巻き込まただけで、国際法上通れないのは敵国である米とイスラエルの船だけです。イランは米の同盟国以外の通行を認め始めています。中国やインド、パキスタン、トルコ、ギリシャ等の船が通過しています。タンカーを通させ、経済への影響を避けるのが目的なら、日本は米の戦争に協力しないと宣言して、イラン政府と話し合うべきです。米の戦争に加担して参戦するのは全く逆効果です。

米とイスラエルを非難し、戦争をやめさせよう

戦争の被害は甚大です。イランの国と国民(死者3000人超)だけでなく、周辺国の被害も深刻です。イスラエルはレバノン侵略(死者1000人)まで始めました。これ以上続けば石油価格高騰をはじめ世界中が深刻な影響を受けます。国際法違反の戦争を一方的に始めたのは米国とイスラエルです。米国の戦争に加担し、戦争に参加するのではなく、両国に直ちに戦争をやめるように要求することが一番重要です。高市首相と日本政府がトランプの戦争を正当化し続けることが戦争を長引かせます。高市首相は訪米して、①軍事費の大幅増(GDP比5%)、②巨額の費用を要する米ミサイル防衛への出費、③米国エネルギー部門への投資をお土産にトランプの機嫌をとりました。しかし、必要なのはトランプに面と向かってすぐ戦争をやめろと非難し、一切協力しないと突きつけることです。

ライブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com 2026年3月21日



米国はキューバの人々を絞め殺す 石油封鎖を直ちにやめろ

トランプ大統領はキューバも絞め殺そうとしています。1月29日に、トランプ大統領は、キューバに石油を供給する国に大幅関税を課し、事実上石油封鎖を実施しました。もう3か月もキューバには石油が届きません。トランプ大統領は次にキューバの現政権を転覆すると公言しています。この石油封鎖は、キューバの人々に深刻な人道的悲劇をもたらす戦争犯罪です。直ちに封鎖を解除を求めます。

これまでの経済封鎖はキューバ経済に打撃を与えてきましたが、今回の石油封鎖はそれに輪をかけて深刻な被害を生み出しています。キューバで給油が困難となり長距離の航空便が急減しています。ガソリンの不足はスクールバスが止まって生徒が学校に行けなくなり、病人たちが病院に行くことさえできなくしています。長時間の停電は水道の送水さえ止めています。多くのキューバ市民が仕事を失い、健康と生命を脅かされる危機にむかって追いやられています。米国のしている封鎖は、国際法に違反するだけでなく、事実上の戦争行為です。

キューバ政府と人民は、決して脅しに屈しません。最後まで闘い抜くでしょう。キューバ政府は、米国に話し合いによる解決を求めるとともに、国際社会が米の「経済的侵略行為」に立ち向かい、国際秩序と正義を共同で守るよう呼びかけています。メキシコや中国は人道物資を送っています。ロシアはタンカーを送ると表明しました。多国籍の支援船団も到着しています。今こそ石油封鎖の解放を！



キューバに支援物資を届ける欧州からの船団

※リブインピースでは「キューバ支援カンパ」を募っています。3月中に下の振込口座に「キューバ支援カンパ」と明記して名前・住所を書いて振り込んでください。4月に直接大使館に届けます。
郵便振替：00910-5-107564 加入者名：リブインピース

拉致されたマドゥーロ・フローレス大統領夫妻を解放させよう トランプはベネズエラ侵略、恫喝をやめろ！主権を認めろ！

米国は1月3日にベネズエラのマドゥーロ・フローレス大統領夫妻を拉致し、空爆で100人以上の人々を殺しました。とんでもない国際法違反の侵略行為です。ベネズエラでは大統領拉致以来毎日のように大規模なデモや集会が開かれています。世界中からも二人の解放を求める声が上がっています。日本からも米国の暴挙糾弾の声が上げられました。ところが、高市政権はこの驚くほどあからさまな国際法違反の暴挙を批判せず、容認しています。彼らがいいつも口にする「秩序とルール」がいかに自分勝手なものか



明らかです。

私たちは、米国政府が直ちにマドゥーロ、フローレス大統領夫妻を解放し、ベネズエラに対する威嚇と攻撃をやめるよう求めます。

イシカワ・ベネズエラ大使講演会

4月4日(土) 午後2時から

阿倍野市民学習センター講堂

参加費千円(学生500円) 主催：リブインピース